

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和6年度

法人名	社会福祉法人 青い海の会	代表者	木村鶴恵	法人・ 事業所 の特徴	基本理念「地域で支え・笑顔・ぬくもり」くじらの心「みんな生き生きくじらで暮らす」くじらに関わる全ての人が、大海原を生き活きと泳ぐくじらのように元気に毎日過ごす。そんな笑顔・ぬくもりのある場所になれるよう取り組んでいる。こども園併設の特徴を生かし、園児たちと日常的な交流ができアットホームな空間が楽しめる。地域住民の方と毎月末の日曜日に「くじらの会」という交流会を開催し、体操・歌・踊り・読み聞かせ・世代間交流などを企画している。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 南浜の家くじら	管理者	高橋恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	0人	2人	1～2人	0人	5人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所の課題点やより良くするための活動に焦点を当て、具体的な改善策を実行する。 ・職員会議の中で、課題点について取り組んでいるか検証する。	・職員会議の中で、総括表の改善計画が実行できているか、具体的に話し合う時間を持つ事ができた。 ・課題点は取り組めたものもあるが、まだ不十分なものもある。	・職員間の「情報共有」がうまく繋がる事によって利用者や家族の方々が信頼して当事業所を利用していることを確信している。	・職員会議で、課題点について取り組んでいるか定期的に検証する。 ・運営推進会議の中で、事業所の課題点についてどんな取り組みをしているか具体的に伝える。
B. 事業所のしつらえ・環境	・観葉植物や季節の花等を利用者の目にとまる所に飾り、気持ちの良い空間づくりを心がける。 ・人的環境、物質的環境の両面から、心地の良い居場所づくりのため、職員が力を合わせ、常に職員会議等で改善点を話し合う。	・職員や利用者が常に季節の花を持参して、事業所内はいつも花でいっぱいだった。 ・自己の振り返りを行い、反省すべき点や、自分自身の強みを確認する事で、今後どんな自分になっていきたいか各自考えた。	・いつも季節にあわせた壁や天井の装飾など工夫しており、明るい雰囲気を感じられる。 ・利用者の表情豊かな行事等の写真が展示されていて、一人ひとりが「主役」と感じられる。	・常に利用者の目線にたち、どんな環境が心地よく感じるかを意識しての空間づくりを心がける。 ・家族や地域の方々が、ここにこの事業所があって良かったと思っていただけるように、職員が力を合わせ、環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の施設や機関との連携を強化し、協力し合える事、合同で出来る事を運営推進会議の中で確認し助言していただく。 ・広がってきたつながりの輪を大切に、常に情報をキャッチしながら、当事業所で出来る事を考え続ける	・「くじらの会」で作業療法士の方々地域大学生ボランティア等、様々な機関と連携し、小中学生も加わって、世代間交流を兼ねた時間を持つ事ができた。 ・地域ケア会議にリモートで出席し多職種の方々から情報を得た。	・事業所評価で、地域の資源等をあまり把握できていない、となっていたが、取り組んでいると感じるので、高く評価してもよいと思う。 ・事業所が地域の施設や機関と関わりを持ち、合同で様々な活動をしていることが伝わった。	・会議に今後も全職員が順に出席し事業所の理解を深めていただけるよう、また、全職員が地域の方々と顔なじみとなれるようにする。 ・小中学校はもちろん、地域大学生とも関りを深め、多くの方々とながりをもち続けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・認知症の事や、小規模多機能型居宅介護の役割や特色を多くの方々に知っていただく。(広報、小・中学校への働きかけ等) ・利用者の思いや希望によりそい、それを実現するための柔軟な対応を心がけ、職員間で共有する。	・地域包括支援センターの職員と一緒に地域住民を対象に、認知症サポーター養成講座を4回行うことができている。 ・利用者の思いに触れた職員は、すぐ他の職員にも報告し、実現に向けて努力をした。	・小中学校の校長先生が会議に参加していて、地域としては、子どもたちがこの地域と一緒に支えていってくれると感じて心強い、ありがたいことだと思っている。 ・利用者に寄り添った取り組みが、生きる力となっていると感じている	・地域の豊かな資源(種差海岸や大久喜漁港、山、隣接するこども園、様々な機関)を生かして、利用者が、事業所以外でも活動できる場を広げる。 ・利用者の思いや希望によりそい、柔軟な対応を心がける。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議の中で、BCP の見直しや助言等をいただく。 ・会議に今後も全職員が順に出席し、事業所の理解を深めていただけるようにする。事業所が地域に向けて出来る事を常に考える。	・BCP を深く見直し、助言をいただく時間を持てなかった。 ・会議に職員が順に出席することができた。また、近隣地域から勤務している職員が多い事から、災害時の協力体制についても伝えた。	・会議の中で、毎回何かのテーマで自己紹介をするので、参加した職員の話した内容で、その方が印象に残り、より覚えやすいと感じる ・地域から勤務している職員が多いと聞き、心強いと感じる。	・運営推進会議の中で、地域の課題点について話し合い、みんなが助け合い住みやすい所と思えるようにしていく。 ・会議の中で、事業所の取り組みをわかりやすく伝える。
F. 事業所の防災・災害対策	・BCP 作成と実行において、地域の協力が欠かせない事から、事業所の防災訓練に、外部の方々に参加していただいたり、地域の訓練にくじらの職員が参加し、お互いの交流を深める。	・南浜中学校の3年生と、水害時の垂直避難について、鮫消防署隊員のご協力のもと、合同防災訓練を行う事ができた。 ・訓練による、BCP の見直しまでには至っていない。	・運営推進会議の後に、職員と一緒に、実際の避難場所まで行き、確認をさせてもらった。 ・中学生にとって、合同の防災訓練は得るものが大きく、今後も是非継続していきたいと願っている。	・合同防災訓練で得た反省点や教訓を、BCP に反映させ、定期的に見直したり、職員一人ひとりの防災意識を高く持つ。 ・目標を明確にし、継続して、合同防災訓練を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日(水)～9月10日(火)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和) 野沢、程熊、高橋(加)、大森、本間、種市 山口、竹駒(恵)、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4	9	1			14

前回の改善計画
急なケアの変更時などはとくに、申し送りノートに記入するだけでなく、口頭でも職員に内容を伝える。話した事がきちんと伝わっていると、利用者様やご家族様がその事を感じて安心して頂けるようにする。本人がまだ慣れていない時期は、不安を取り除くことができるような言葉をかけたり、見守りを強化し本人やご家族様との信頼関係づくりに努める。利用初期は、特に関わった職員が気づいたことを申し送りノートやミーティング等で伝え、職員間での連携を密にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員間での連携を密にしているようでも時々伝わってなく、利用者様やご家族様にご迷惑をかけた事があった。 ・普段の申し送り時や申し送りノートを利用したり、会議等で情報共有ができていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	13			14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	2		14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10			14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	4		14

できている点
・利用初期、積極的に声かけをし、不安にならないよう心がけた。 ・職員会議にて、自分の知らない事を知れたり、逆に自分が経験した事を職員に伝える事ができ、情報交換のいい場となっている。 ・申し送りノートを活用し、ご家族様からの連絡事項は伝え合うようにしている。また、出来る限り、口頭でも内容を伝えるよう努めている。 ・利用者様の情報はカンファレンスや申し送りノートで確認することができた。

できていない点
・ついついたくさん食べて頂きたく、配膳が多めの時があったように思う。 ・利用者様とは話す機会があるがご家族様と話す機会があまりなく家族の思いを充分に聞き出せていない。 ・利用開始前にできるだけ多くの情報を得る事が望ましいが、接している中で新たに得る情報もあり、段階的な情報収集になっている。 ・時々、全職員に連絡事項が伝わってなく、ご家族様から「〇〇さんに言いましたが…」と不信な様子で話されることもある。

次回までの具体的な改善計画
急なケアの変更時などはとくに、申し送りノートに記入するだけでなく、口頭でも職員に内容を伝える。話した事がきちんと伝わっていると、利用者様やご家庭様がその事を感じて安心して頂けるようにする。本人がまだ慣れていない時期は、不安を取り除くことができるような言葉をかけたり、見守りを強化し本人やご家族様との信頼関係づくりに努める。利用初期は、特に関わった職員が気づいたことを申し送りノートやミーティング等で伝え、職員間での連携を密にする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日(水)～9月10日(火)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和) 野沢、程熊、高橋(加)、大森、本間、種市 山口、竹駒(恵)、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4	7	3			14

前回の改善計画	支援内容を振り返り、成功した事、うまくいかなかった点など具体的に考え、カンファレンスの中で発表し合う。担当者会議にスタッフが積極的に参加する。 本人の希望を職員間で共有し、実現可能なものは実現につなげる。本人の「おもい」とご家族様の「おもい」をうけとめ、どうする事が利用者様にとって良いのかを職員でよく話し合い、ケアの方向性を決めていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・支援内容を職員全員で振り返った時、協力し合ってうまくいった事例を共有できた事は次につながる出来事だった。 ・本人の「おもい」ご家族様の「おもい」に大きな違いがある時どうする事がよいのか毎回考えさせられる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	6	7		14
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	4		14
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	6		14
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	3		14

できている点	・利用者様の「〇〇したい」というおもいを受け止めた職員が、すぐに管理者・ケアマネに伝え具体的にどうしたらよいか案を出し合い、ケアプランを変更し対応した結果、本人の希望を叶える形に変化させていく事ができた。職員が力を合わせ、本人にとってよい方向をさぐり、成功を実感できた。 ・入浴時、利用者様が話してくれることを聞こうと努力した。 ・利用者様とコミュニケーションをとる中で、好きな事などを聞き出し支援につなげている。
--------	---

できていない点	・利用者様とご家族様のおもいが違っていて利用者様の希望どおりにいかなかった。 ・利用者様ひとりひとりの「～したい」という思いに応えられていない。日々の業務をこなすのにいっぱいいっぱいになってしまう時がある。 ・本人の目標(ゴール)は何か問われると、わからない利用者様もいる。 ・会議やカンファレンスで発表された事が実現されずに繰り返しカンファレンスで同じ事がでている事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	支援内容を振り返り、成功した事、うまくいかなかった点など具体的に考え、カンファレンスの中で発表し合う。担当者会議にスタッフが積極的に参加する。 本人の希望を職員間で共有し、実現可能なものは実現につなげる。本人の「おもい」とご家族様の「おもい」をうけとめ、どうする事が利用者様にとって良いのかを職員でよく話し合い、ケアの方向性を決めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
3. 日常生活の支援	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3	10	1			14

前回の改善計画	本人の能力や可能性に着目し、それらを活用した生活・支援を目指す。今後も内部・外部研修に積極的に参加し、得たものを職員間で共有し合う。利用者様からの声や気づきを細やかに記録したり、伝え合い共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員会議の中で毎回、研修報告の時間をとり、学習したものを共有することができた。 ・本人の能力や可能性に着目したケアの仕方は、職員一人ひとりがよく考え、もっと高めていけたらよい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	3	9			14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	8	1			14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	7	4			14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	9				14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8	1			14

できている点	・利用者様の体調や何か変化がある時は、その都度職員間で共有し対応している。 ・できる限り本人の状況に合わせて食事の提供、入浴、排せつなど職員間での共有。 ・参加できる研修や他職員が参加した資料には必ず目を通すようにし、情報収集できた。 ・入浴中、生活の様子や出来事をよく話して下さるので、他職員に伝え情報共有している。
--------	--

できていない点	・積極的に関わる姿勢が足りていない。 ・苦手な利用者様は避けていたような気がする。 ・本人の能力を維持する関わりはできているが、可能性に着目できていなかった。 ・以前の暮らし方は、利用者様ごとにムラがあり、情報を得る事が困難な利用者様もいる。また、本人やご家族様があまり情報を教えたがらないところもある。 ・利用者様の本当のおもい（心の奥の深い部分）をとらえているとはいえない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	本人の能力や可能性に着目し、それらを活用した生活・支援を目指す。今後も内部・外部研修に積極的に参加し、得たものを職員間で共有し合う。利用者様からの声や気づきを細やかに記録したり、伝え合い共有する。 今までの暮らし方がどうだったのか情報を得た時も職員間で共有し、本人の理解を深める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	4	9	1			14

前回の改善計画	今後も事業所周辺の豊かな自然（種差海岸、漁港、山等）にふれ、おおききこども園の園児と交流する等、利用者様の地域交流の場を広げる。また、本人の自宅での過ごし方、地域の方々との関わり方に関心を持ち、理解を深める。職員が更に地域力、地域資源を意識して、活動にいかせるよう努める。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・ 支援センターと協力し合い、小学校で認知症養成講座を行うことができた。また、地域公民館主催の和菓子づくりやミニミニ水族館、学生ボランティアがくじらの会に毎回参加するなど、多くの機関と連携することができた。 ・ 本人の自宅での過ごし方、地域の方々との関わり方について、まだ理解が足りない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	10	3			14
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	9	2			14
③ 事業所が直接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	4	8			14
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	3	9			14

できている点	・ 感染症対策の上、くじらの会といった交流が実施できている。 ・ 公共機関（小・中学校、支援センター、公民館）、ボランティアなど働きかけにより協力が得られている。 ・ 海がいつでも見られ、送迎時も通しながら日々の変化も感じる事ができる。また、周辺の花畑や美しい自然を何度も訪れることができた。 ・ キャラバンメイトの活動を通して、地域の交流に参加できている。
--------	--

できていない点	・ 独居の方や、ご夫婦のみで過ごされている利用者様の情報を把握する事が困難。ご家族様が仕事で留守のことが多いので、利用されていない日や訪問以外の日に体調を崩されていることがあった。 ・ 本人の地域での役割や生きがい、人生観や価値観の理解は奥が深く、まだまだできていない。 ・ ご家族様や本人の問題が同じ地域のため、ご家族様が積極的に関わらないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	本人の自宅での過ごし方、地域の方々との関わり方に関心を持ち、理解を深める。職員が更に地域力、地域資源を意識して、活動にいかせるよう努める。 今後も事業所周辺の豊かな自然（種差海岸、漁港、山等）にふれ、おおききこども園の園児と交流する等、利用者様の地域交流の場を広げる
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	10	3			14

前回の改善計画	管理者やケアマネは、ケアの方向性を職員がわかるよう具体的に伝え、それが実行されているか、問題点はないかよく見守る。 日々のかかわりの中で、利用者様の変化に目を向け、伝え合い、柔軟な対応の仕方を共に考えていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・利用者様の体調等の変化に細やかに対応し、職員同士協力してケアを行うことはよく出来ていた。 ・管理者、ケアマネが、支援の方向性を具体的に分かりやすく職員に伝える部分が出来ていない事もある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	7	5			14
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	7	1			14
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	9	1			14
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	11	1			14

できている点	・利用者様の関わりの中で、気づいた事や気になった事を出し合い、みんなで対応の仕方を考え決めることができた。 ・その日、その時、本人のニーズに合わせて、要望があった時は、所長やケアマネ、リーダーに相談し、柔軟な支援ができていると思う。 ・利用者様やご家族様の状況に合わせて訪問を増やしたり、通い・宿泊なども調整し対応できている。 ・利用者様の気分、体調に合わせた食事提供を心掛けている。
--------	---

できていない点	・やはり全体が同じ方向性でという点は不足だったと思う。 ・職員サイドからすると、もっと解る様伝えてほしい事があると思える。努力したい。 ・新しい情報、変化したことなど情報量が多く把握不足で対応に不備が生じてしまう。 ・ケアの方向性を具体的に職員に伝えたり、問題点を検討する事が不十分だった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	管理者やケアマネは、ケアの方向性を職員がわかるよう具体的に伝え、それが実行されているか、問題点はないかよく見守る。 日々のかかわりの中で、利用者様の変化に目を向け、伝え合い、柔軟な対応の仕方を共に考えていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
6. 連携・協働	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	8	5	1			14

前回の改善計画	くじらの会に全職員が参加できなくても、記録（報告書）を丁寧に残し、他職員が内容を知ることができるようにする。くじらの会参加者を、地域高齢者だけに限らず、小中学生など異年齢との交流も持てるようにしていく。 利用者様以外にも、当事業所へ遊びに来ていただけるような雰囲気づくりやイベントを考える。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・毎回丁寧にくじらの会の報告書を作成し掲示する事で、参加できなかった他職員も内容を知ることができた。また、地域の子供達に声をかけ、異世代合同の会も開催できた。 ・学生ボランティアや作業療法士会の皆様など、多くの方々に来所していただき、当事業所を知っていただく機会を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	6	5	1		14
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	7	3	1		14
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	6	4	1		14
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	6	2			14

できている点	・去年のくじらの夏祭り以来、他機関（支援センターや作業療法士会など）との連携ができ、健康教室でいきいき百歳体操を地域の方へ広める事ができた。異年齢交流もでき、新たに大学生ボランティアサークルとのつながりもでき、少しのきっかけで毎月のくじらの会も継続できている。 ・くじらの会に多く職員が参加し、また記録（写真）を丁寧に残すことで参加していない職員も、くじらの会の内容を詳しく知る事ができた。 ・入退院時のカンファレンス、面談等、医療機関や地域包括支援センターとの情報交換を細かく行えた。 ・おおきこども園とできる限り感染対策を行い、交流を多く持つことができた。
--------	---

できていない点	・その都度相談はしていると思うが、使用していない福祉用具など、ご家族様から情報収集したり、相談ができていないと思う。 ・自治体や各種機関への関りについて詳しく理解できていない。 ・各種会議、活動、イベントに参加できていない。くじらの会への参加もできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	利用者様以外にも、当事業所へ相談や遊びに来ていただけるような雰囲気づくりやイベントを考える。 くじらの会を中心に広がってきた他機関とのつながりの輪を大切に、様々な方々と協働できるよう出逢いの機会を持つ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日(水)～9月10日(火)
7. 運営	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、大森、本間、種市山口、竹駒(恵)、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7	4	3			14

前回の改善計画	こちらから地域の小・中学校へ出向き、当事業所を訪れて理解を深めてもらえるよう努める。また、運営推進会議において、参加された方々から意見をいただき、運営改善へつなげていく。 どうしたらもっと地域と協働した取り組みを行って行けるか、職員会議や運営推進会議の中でアイデアを出し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・支援センターの方々と一緒に地域の小学校で認知症養成講座を行うことができ、子供達の生の声が聴けて良かった。運営推進会議のつながりから地域の中学生と初めて合同で避難訓練を行うことになった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	6	6			14
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	3			14
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	5	4	1		14
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	5	4	5			14

できている点	・小学校へ出向き、地域包括支援センターの方々と認知症サポーター養成講座を行うことができた。(当事業所は、認知症を理解して頂くための寸劇担当) ・養成講座がきっかけで、今年度から小・中学校の校長先生も運営推進会議に参加して頂ける事ができ、また、それがきっかけで中学生との防災訓練も予定している。地域でのつながりが増えた、いいきっかけ作りができています。 ・利用者様やご家族様からの要望に素早く対応し、職員間で協力しあって、それに応えていくよう努力している。
--------	---

できていない点	・全員が同じ方向をむいて、協同するという処をもっと深められたらと思う。 ・もう少し町内会との連携もできたらと思う。感染対策で縮小しているが、防災訓練は必要だと思う。 ・会議の中でアイデアを提案できていない。 ・地域の方々のニーズや声に耳を傾け、それに応えていく努力。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	今後、関わりを持つことができた事で分かった事や反省点を活かし、企画・具体的な内容を決めていく。利用者様やご家族様の意見や要望・苦情を真摯に受けとめ、丁寧に対応しながら事業所のあり方を振り返る糧としていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	5	7	1	1		14

前回の改善計画	運営推進会議に職員が順に参加できる機会をつくる。 地域の方々や職員が顔をあわせる研修（内・外）に積極的に参加し、学ぶ姿勢を忘れずに、個々及びチームのスキルアップに努める。 地域連絡会に参加できない職員へも情報共有を行い、当事業所を全職員が知恵を出し合い、改善していけるよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議に職員が順に参加できている。 ・昨年度よりも研修（内・外）に参加できていると答えた職員が多く、会議の中で報告の時間もとることができた。 ・他施設の職員とのグループワーク等を苦手と感じている職員も、事業所内の会議ではある程度、自分の意見を話すことができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	7	3	1		14
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	8	3	2		14
③ 地域連絡会に参加していますか	2	4	5	2	1	14
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	6	1	1	14

できている点	・必要な研修に参加したり、今まではできなかったが興味がある書籍を読み、別な視点から介護の事を知ることができた。色々な実体験が参考になっている。 ・リモートでの会議や研修を中心に、多くのものに参加し学んでいる。 ・運営推進会議には、職員が順に参加し、委員の方々と顔を合わせて話す機会をつくっている。 ・ヒヤリハット等を見て、気を付けようと思います。
--------	--

できていない点	・全職員が知恵を出し合い、改善していけるよう取り組むことが出来ていなかった。 ・スキルアップの為の行動、研修への参加不足。 ・地域連絡会に参加できていない。地域の活動等参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	職員会議で、それぞれが意見を活発に出し合い、お互いに高めていけるような有意義な会議にしていく。 地域連絡会に参加できない職員へも情報共有を行い、当事業所を全職員が知恵を出し合い、改善していけるよう取り組む。 介護保険制度の仕組みや法改正について学び合い、働くことの価値や喜びを持てるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月28日（水）～9月10日（火）
9. 人権・プライバシー	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、大森、本間、種市 山口、竹駒（恵）、中屋敷

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3	8	3			14

前回の改善計画	高齢者虐待、人権やプライバシー、成年後見制度等の研修・学習を取り入れ、職員が理解を深めるようにする。また、接遇やマナーについても改めて見なおし、利用者様の尊厳を重んじるケアに努める。各自守秘義務について意識を高く持つ。プライバシーに関わる話もそうでない時も、声量・場所等配慮する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・高齢者虐待についての研修に殆どの職員が参加できた。 ・職員間での会話が声量や場所等、配慮に欠けている時もあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	8	5	1			14
② 虐待は行われていない	9	4	1			14
③ プライバシーが守られている	5	8	1			14
④ 必要な方に成年後見制度を活用している			4		10	14
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	8	1			14

できている点	・プライバシーに関して、トイレ利用・おむつ交換時、入浴の時等は配慮している。 ・成年後見制度の研修は受けている。接遇、尊厳、マナーについて学んでいる。 ・下着など洗濯物を干す場所を相談して、来客されたお客様にも不快な思いをさせないようにした。 ・身体拘束、虐待など一切なく利用者様が快適に過ごせる様、見守りができた。
--------	---

できていない点	・プライバシーの話や利用者様の昼寝時、職員間同士での会話など配慮に欠けている時がある。 ・声量、場所（プライバシー・守秘義務）に配慮するという処は、もう少し改善の必要がある。 ・スタッフルームで利用者様の話をしてしまう時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	プライバシーに関わる話もそうでない時も、声量・場所等配慮する。 高齢者虐待、人権やプライバシー、成年後見制度等の研修・学習を取り入れ、職員が理解を深めるようにする。また、接遇やマナーについても改めて見なおし、利用者様の尊厳を重んじるケアに努める。各自守秘義務について意識を高く持つ。
---------------	--